

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

事業内容

国産木材を活用した区役所庁舎整備事業（案内サイン・テラス等整備）

- ・ 西成区役所各階の案内サイン等を改善することにより、区役所出入口から目的の窓口までの所要時間短縮や満足度の向上を図るとともに、案内サイン等の素材に国産木材を使用することで暖かな雰囲気を出した。
- ・ 西成区役所庁舎の1階に設置している記載台及び3階・4階・6階のテラスに設置しているベンチを更新し、利用者が木のぬくもりや優しさを感じられる空間を創出した。

【事業費】36,602千円（うち譲与税36,602千円）

【実績】庁舎案内サイン等に国産木材を使用

屋外用ベンチ 19台

記載台 7台



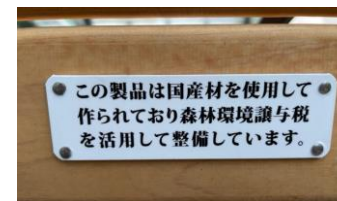
事業スキーム

公募型プロポーザル事業

一般競争入札

工夫・留意した点

- ・ 多くの来庁者が目にする庁舎案内サイン等の素材に国産木材を使用することで暖かな雰囲気を出した。
- ・ 森林整備や木材利用の重要性を伝えるため、各階に森林環境譲与税の活用を記した、サインを設置し、更新した全ての屋外用ベンチ・記載台に、森林環境譲与税の活用を記したプレート等を貼った。



基礎データ

①令和4年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より